

第5学年 社会科学学習指導案

日 時 令和3年11月8日（月曜日） 5校時（13：55～14：40）
学 年 第5学年（27名）
授 業 場 第5学年松組 教室
指 導 者 佐々木 夕子

1 単 元 くらしと産業を変える情報通信技術

2 単元の目標

- 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解するとともに、聞き取り調査や、写真や統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について多角的に考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 情報や情報技術の活用による産業と国民生活の変化について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	○情報の種類、情報の活用の仕方などについて、聞き取り調査をしたり写真や統計などで調べたりして、必要な情報を集めて読み取り、販売などの産業における情報活用の現状を理解している。 ○聞き取り調査をしたりコンピュータなどの各種資料を調べたりして、情報の出典を確認し情報活用の様子を図表などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。
思考・判断・表現	○情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、問いを見いだし、販売などの産業における情報活用の現状について考え表現している。 ○販売などの産業における情報活用の様子を総合して、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考えたり、学習したことをもとに、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について産業と国民の立場から多角的に考えたり判断したりして表現している。
主体的に学習に取り組む態度	○情報や情報技術の活用による産業と国民生活の変化について、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ○学習したことをもとに、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について産業と国民の立場から多角的に考えようとしている。

4 単元について

(1) 子どもの実態と培いたい資質・能力について

本学級の子どもたちは、放送・新聞などの産業の学習で、情報がわたしたちの生活に重要な役割を果たしていることを学んでいる。しかし、情報通信技術（ICT）がわたしたちの生活のどのような場面で使われているかについては、ほとんど理解できていない。授業についてのアンケートからも、「身近な生活の中で情報通信技術が使われている場面といえば、オンラインゲームくらいかな。」といった認識で、わたしたちの生活は情報通信技術を活用した産業に支えられていると意識している子どもはほとんどいない。

そこで、近くにあるスーパーに新しく導入されたレジシステムを調べたり、販売業に従事している人に聞き取りをしたりする活動を取り入れることで、情報通信技術が身近に使われていることに気付かせる。そして、「どのような情報を集めているのか」、「情報をどのように活用しているのか」を考えることにより、販売業は情報通信技術を活用し発展していること、大量の情報を分析し消費者のニーズに応え、わたしたちの生活を便利にしていることを理解させたい。このとき、販売業と消費者の立場から多角的に捉え、自分の考えをまとめ表現できる力を身につけるとともに、これからの情報通信技術の課題や可能性について考えを深め、今後、情報通信技術の活用がさらに進展していく中で、その活用の仕方を考え続けることができる子どもを育てたい。

(2) 教材について

学習指導要領では、大量の情報や情報通信技術を活用する産業について、「販売、運輸、観光、医療、福祉など」から選択して取り上げることが例示されている。

本単元では、例示されている産業の中から「販売」について取り上げ学習を進めていく。「販売」は子どもたちにとって身近な教材であり、情報通信技術の発展による生活の変化もイメージしやすい教材である。新しいシステムが導入されたレジや販売業に従事している人の聞き取りを通して、本部が大量の販売情報を収集・分析していることをつかませる。そして、情報通信技術の活用が産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにしたい。

また、こうした情報通信技術の発展は、わたしたちの生活の利便性の向上に大きく関わっている一方で、個人情報流出や個人・地域における情報格差などの課題があることも捉えることができるようにする。

今後、情報通信技術はさらに発展し、わたしたちの生活に欠かせないものとなっていくと考える。この教材は、そうした情報化社会への関わり方を考えていく上で、価値のある教材だと考えている。

(3) 単元の構造図

〔学習指導要領との関連〕 第5学年 内容(4)

【知識・技能】
 (イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。
 (ウ) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。

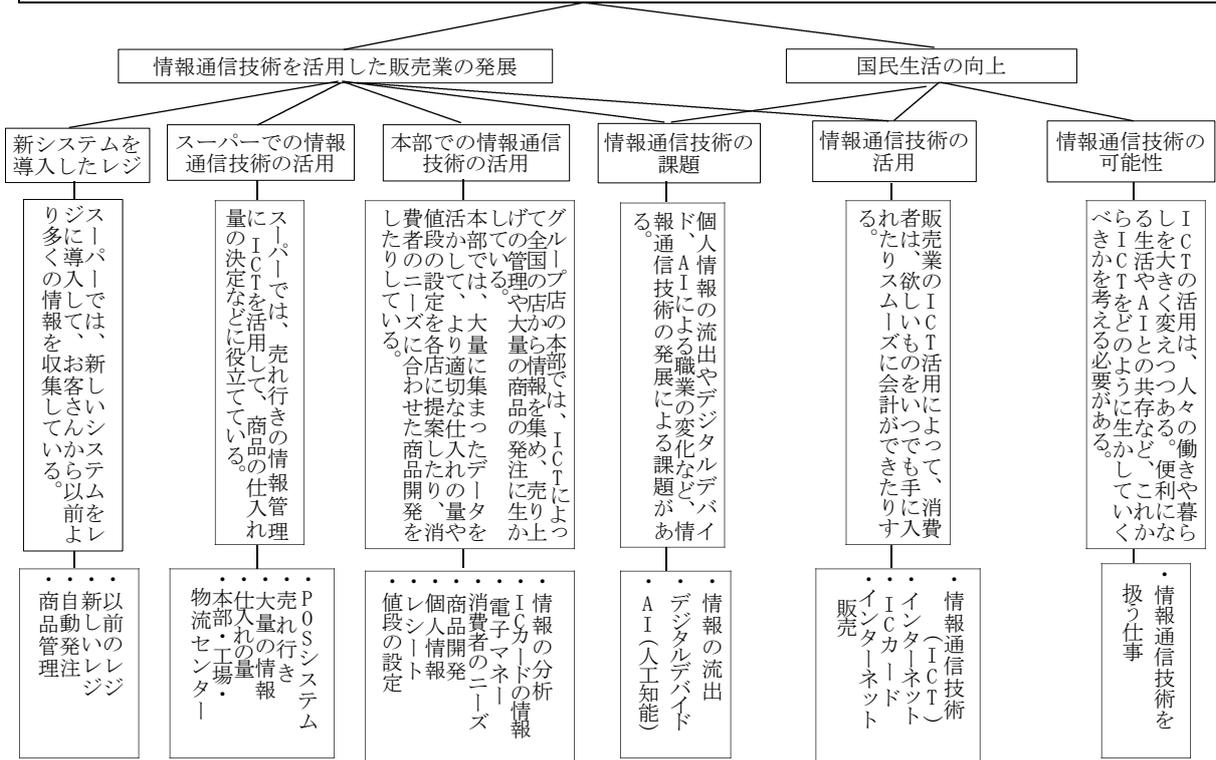
【思考力・判断力・表現力等】
 (イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

【内容の取扱い】
 イ アの(イ)及びイの(イ)については、情報や情報技術を活用して発展している販売、運輸、観光、医療、福祉などに関わる産業の中から選択して取り上げる。その際、産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

【中心概念】 情報通信技術を活用することで、大量の情報を収集・管理、分析できるようになり、販売業が発展し、国民生活も向上している。これからその技術をどのように生かしていくべきかを考える必要がある。

【単元の学習問題】 情報通信技術を活用することで、わたしたちのくらしや販売業はどのように変わってきているのだろう。

情報の種類 **情報の活用の仕方**



5 指導計画 (全8時間)

□…学習問題 □…本時のめあて ◆…主な評価 □…次時につながる思考 ○…指導・支援

段階	活動と主な評価	子どもの意識の流れ	指導・支援
問題を つかむ	①身近な生活から情報通信技術 (ICT) が活用されている場面を探し、学習問題をつくろう。	<p>情報をやりとりする仕組みは、くらしのどの場面で見られるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物するとき、カードやスマホで「ピッ。」と支払いできるよ。 ・家にいながら、インターネットで買い物もできるね。 ・ポイントカードを機械に通しているから、何か情報をためていそうだよ。 ・お金をおろせる機械が置いてあるのを見たことがあるよ。 ・スーパーでセルフレジを見たことがあるよ。 	<p>(資) 現金での支払いレジ (資) 電子マネーでの支払い回数の変化とインターネットショッピングの売上額の変化グラフ (資) 情報通信技術の説明 (資) ICカードの説明</p> <p>過去と現在のレジの写真や、電子マネーでの支払いグラフ・インターネットショッピングの売り上げグラフなどの変化を読み取ることにより、これからの学習に関心をもつことができるようにする。</p>
	<p>情報通信技術を活用することで、わたしたちのくらしや販売業はどのように変わってきているのだろう。</p>		
予想を たてる 調べ方を 決める	②学習問題に対する予想を立て、調べる計画を立てよう。	<p>学習問題の予想を立て、調べる計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小銭を使わずに支払いができるようになったよね。便利になったね。 ・カードに入っているのは、お金の情報だけかな。いろんな情報が入っているんじゃないかな。 <p>お客さんの情報を集めて、売り上げを伸ばしているんじゃないかな。【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財布を持っていかなくても買い物ができる仕組みは、どうなっているのかな。 ・カードを使って買い物することもあるよね。情報と何か関係があるのかな。 <p>情報を活用することで、わたしたちのくらしが便利になってきたんじゃないかな。【B】</p>	<p>(資) 現金での支払いレジと電子マネーでの支払いレジの写真 (資) レシート (資) ICカード (資) セルフレジの写真</p> <p>「情報を活用することで、何が変わってきているのだろう。」と問うことにより、予想をまとめて整理し、問題解決への見通しを立てることができるようにする。</p>
	③新旧レジを比べて、何がよくなったのかを調べよう。	<p>新しいシステムが入ったレジでは、どんなことができるようになったのだろう。【A】 【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジで売れた商品が分かって、足りなくなった商品の注文まで一度にできるんだね。売り切れが防げて、売り上げが上がるね。 ・情報通信技術 (ICT) のおかげで、売れ残りを防ぐことができるよ。 ・どの商品がよく売れているかも分かるんだね。 ・いろいろなカードを使うことで、よく買っている商品が分かってクーポンが発券されていたり、値引きサービスを受けられたりしているよ。 ・新しいシステムを導入したレジでは、いろんな情報が集められるようになったね。 <p>たくさんの情報を集めて、どんなことに使っているのかな。</p>	<p>(資) 新システムが導入されたレジの写真 (資) 以前のレジの写真 (資) 店長さんの話</p> <p>見た目には変わらない新旧のレジの写真を比較し、「目に見えないところが変わっているよ。」と問うことにより、情報活用のために新しいレジを導入したことに気付くことができるようにする。</p>
調べたし かめる	④スーパーが集める情報の種類や、集まった情報をどのように活用するのかを調べよう。	<p>スーパーでは、どのように情報通信技術を使っているのだろう。【A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用すると、たくさんの情報をあつかうことができるんだね。 ・店の情報は、すべて本部に集められていると店長さんが言ってるよ。 ・本部には、各店舗から売れ行きの情報や仕入れ (発注) の情報が集まってくるね。 ・本部は、各店の仕入れをまとめて工場に発注しているよ。 ・発注された品物は、工場から物流センターへ行き、そこから各店に運ばれているんだね。 ・スーパーでは販売に関する情報を集めて本部に送り、店の利益が上がっているんだね。 <p>それぞれの店から情報が集まるよ。本部では、大量に集まった情報をどうしているのかな。</p>	<p>(資) 各店へ商品を運ぶ図やイラスト (資) 物流センターの写真 (資) 店長さんの話</p> <p>仕組み図を書き、「スーパーが情報のやりとりをしているのはなぜか。」と問うことにより、スーパーが情報通信技術 (ICT) を活用して情報を集める目的を考えることができるようにする。</p>
	⑤本部に集まった大量の情報をどのように活用するのかを調べよう。	<p>スーパーや本部の人たちは、大量に集まった情報をどのように生かそうとしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのデータを組み合わせて、売れそうな商品を予想しているね。 ・コンピューターが自動で発注するけど、実際数は人間が決めてプログラムを指示しているんだね。 ・電子マネーやポイントカードを使うと、さらにたくさんの情報が集まるんだね。 ・カードから新たな分析をして、お客さんのニーズに応じているよ。 ・どの店でも活用できるように、本部では改良を続けているんだね。 ・カードの個人情報を扱う会社では、外部に漏らさないように取り組むことが法律で定められているよ。 ・PB (プライベートブランド) の商品を開発することで、安く買えるようになったね。 <p>学習問題の解決に向けて、本部とスーパーの関係をまとめてみよう。</p>	<p>(資) 新システムレジでカード支払いをしている写真 (資) レシート (資) 店長さんの話 (資) 商品開発 (PB商品の写真) (資) クレジットカード (資) 本部のウェブサイト</p> <p>「あなたが本部の人なら、店長に伝えたことは何か。」と問うことにより、商品の仕入れを改善したりお客さんのニーズに応えたりしていることを捉えることができるようにする。</p>
みんな で考え 話し合う	<p>情報通信技術を活用することで、わたしたちのくらしや販売業はどのように変わってきているのだろう。 【判断を求める問い】どの情報や情報通信技術の活用が、わたしたちの生活を便利にしているのだろう。</p>		
	⑥情報や情報通信技術の活用によって、わたしたちのくらしや販売業がどのように変わってきたかを話し合おう。 (本時) ◆店と本部が情報通信技術を活用することで、販売業の発展が国民生活の向上につながっていることを、根拠をもって表現することができる。	<p>販売業は大量の情報や情報通信技術を使うことで発展してきているね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動発注することができるようになったから、いつ行っても欲しい商品が並んでいるね。 ・本部が情報を分析することで、わたしたちが欲しいタイミングで商品が並ぶね。売れる商品を提案してくれているからだね。 ・ポイントをためることで、クーポンが発券されたり値引きをしてくれたりしてお得だね。 ・わたしたちのくらしも、よりよくなってきているんだね。 <p>販売業が大量の情報や情報通信技術を活用してつながることで、わたしたちのくらしもよくなってきているね。</p>	<p>(資) 新システムレジでカード支払いをしている写真 (資) 店長さんの話</p> <p>「どの情報や情報通信技術の活用が、わたしたちの生活を便利にしているのだろう。」と問うことにより、判断したことを根拠をもとに話し合い、国民生活が向上してきたことを理解できるようにする。</p>
ひろげ 深める	⑦情報通信技術の活用がさらに進んだ場合の課題について調べよう。	<p>情報通信技術を活用する中で、どのような課題があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中の人と一瞬でつながれるよ。 ・個人情報ももし流出してしまうと大変だね。 ・なんでも電子化すると、使えない人が困るんじゃないかな。 ・AIがたくさん仕事をして、人間の仕事が減ってしまうかもしれないね。 ・便利だけど、課題もまだあるね。 ・どう使っていくか、考えていくことが大事だよ。 <p>これからわたしたちは、情報通信技術をどうやって生かしていくべきかな。</p>	<p>(資) 情報サービスに関する仕事につく人の数の変化グラフ (資) インターネットで世界中を流れる情報量の変化グラフ (資) AIが支える未来の話 (資) 個人情報の流出を知らせる手紙</p> <p>インターネットを使って買い物をする疑似体験をすることにより、情報の流出など社会に与える影響を考えることができるようにする。</p>
	⑧これからの情報通信技術の可能性について考えよう。	<p>これから情報通信技術をどのように生かしていくのか考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジのところには人がいなくなるんじゃないかな。 ・休校のときに困ったから、学校ももっとリモート授業をするようになると思う。 ・人間がする仕事は減るけど、新しい職業も出てきそうだよ。 ・今ある課題を解決するために研究がさらに進められて、より便利で安全に使えるようになっていくはずだよ。 ・ぼくたちもどんなところで情報を使われているか、もっと知っていけないといけなよ。 	<p>(資) タブレットを使ってリモート授業をしている写真 (資) スマートフォンのアプリ (車いすで移動しやすい道を表示してくれる機能)</p> <p>情報通信技術の可能性を示した資料を提示することにより、社会的課題について具体的に考えられるようにする。</p>

6 本時の指導について

本時のポイント	関係図をもとに、どのつながりが国民生活を向上させているかを判断し、話し合う場面を設定することにより、販売業の発展と国民生活の向上について捉え、自分の考えをまとめることができるか。
----------------	---

(1) 本時の目標

大量の情報や情報通信技術の活用を関係図をもとに、どのつながりが国民生活を向上させているかを判断することにより、販売業の発展と国民生活の向上について捉え、自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の展開

…本時のめあて …子どもの意識 …教師の問いかけ・働きかけ ■は資料

子どもの意識の流れ	学習活動及び ◇指導・支援 ◆評価
<p>店長さんの話では、大量に情報を集め分析して、よりよい店づくりをしたり、お客さんのニーズに応えたりしようとしていたね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">■新システムレジでカード支払いをしている写真 ■店長さんの話</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>情報通信技術を活用することで、わたしたちの暮らしや販売業はどのように変わってきているのだろう。</p> </div> <p style="text-align: center;">関係図に表してみよう。</p> <p>どの情報や情報通信技術の活用が、わたしたちの生活を便利にしているのだろう。【判断を求める問い】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自動発注できるようになったから、いつ行っても欲しい商品が売り切れずに並んでいるね。わたしが買い物をしたときの情報が活かされているね。</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本部が情報を分析することで、わたしたちが欲しいタイミングで商品が並ぶね。売れる商品で提案してくれているから、生活が便利になっている。だから、このつながりが大事だよ。</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ポイントをためると、クーポンや値引き券が発券されてお得だね。わたしたちの情報が活用されているね。このつながりも大切だよ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>販売業が大量の情報や情報通信技術を活用してつながることで、わたしたちの暮らしもよくなってきているんだね。</p> </div> <p style="text-align: center;">今日の学習を振り返って、自分の考えを書こう。</p>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 ⑤</p> <p>◇ 店や本部が大量の情報を集める仕組みや目的について、振り返ることにより、本時のめあてをつかむことができるようにする。</p> <p>2 これまでの学習をもとに、関係図をつくる。 ⑮</p> <p>◇ これまでの学習をもとに関係図をつくることにより、販売業が大量の情報や情報通信技術を活用してつながっていることや、発展してきたことを理解できるようにする。</p> <p>3 関係図から、大量の情報や情報通信技術の活用は、販売業を発展させ、国民生活を向上させていることを考える。 ⑮</p> <p>◇ 自分の意見が他の友達にも分かるよう、ネームプレートを黒板に貼るように指示する。</p> <p>◇ 判断したことを根拠をもとに話し合い、国民生活が向上してきたことを理解できるようにする。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、考えたことを発表する。 ⑩</p> <p>◇ 振り返りの例を提示することにより、自分の考えを焦点化して書くことができるようにする。</p> <p>◆ 店と本部が情報通信技術を活用することで、販売業の発展が国民生活の向上につながっていることを、根拠をもって考え表現することができる。 (思・判・表)</p> <p style="text-align: right;">【発言・ワークシート】</p>